

# おかみさん

## 新着トーフ



「おかみと子育てとの両立をどのようにされたのでしょうか。」



**遠藤** 今は3人も大きくなりましたが、小さい頃はPTAの役員などとして両立は大変でした。

幸い、保育所、小学校の休みの日には実家の両親の協力があり助かりました。夏休みになると東京ディズニーランドに連れて行ったりしましたが、娘からは「サービスマンには就きたくない」と言われたこともあります。

子供が2人、3人いると毎年のように遠足に連れて行ったり、運動会もあったりして、子育て中のお母さんたちは大変だと思います。

当時のことはとても懐かしく思えますが、子供が小さいのはその時しかありません。お母さんは仕事の両立は大変ですが、今の時間を大切にして、子供に接してほしいと思います。阿部さんはどうでしょう。

ので、他人の手を借りるのも一つの方法だと思います。子供の社会性も伸びますし。一人娘なものですから、親がいなくても困らない身も心も強い人になってほしいという願望もありました。

子育ては結局、自分の家庭にあった方法でしかできないと思います。他人の家庭のことが当てはまる訳ではないので。自分のできることをやれたらいいと思います。



ただ、子供の育つ環境は整えてあげないといけません。「南三陸町で育って良かった」と思ってもらえるように。

**鈴木** 旅館業と子育ての両立は大変でしたが、平日は地域の幼稚園が3歳児保育を行っていたのでお願いしました。土日に忙しい時は、主人の兄夫婦や姉が面倒をみてくれて、とても助かりました。



日中、仕事で忙しい分、子供たちが寝るまでの30分間をかくれんぼしたり絵本を読んだりして、子供たちとの時間を大切にしました。

運動会などの学校行事にはほとんど行けませんでしたが、婚礼シーズンと重なるので、子供の世話を同級生のお母さんたちに頼むことが多かったのです。その代わり、運動会の次の日が学校の振替休みになるの

で、お世話になってる家の子供たちに声を掛け、ピクニックや映画に行きました。当時は大変でしたが、振り返るととても楽しかったです。自分の中で最も充実し、輝いていた時間でした。今のお母さんたちには「子育てを楽しんで頑張ってください」とエールを送ります。

**高橋** 今は母がいるので助かっています。震災時には妹3人も実家にいたので有り難かったです。子供たちは私が家に帰ってくると「仕事は楽しかった」とよく聞いてきます。楽しかったことはもちろん、大変だったことも伝えることによって、おかみという仕事を理解してもらえるものだと思います。



**高橋** 私は秋保が大好きで、仕事以上に地域のことに関心しています。秋保に対する私の思いが子供たちに伝わり将来、秋保温泉が好きだと言ってくればいいなあと思っています。

### ◆出席者◆

- 鈴木 緑さん (はまなす海洋館)
  - 阿部 憲子さん (南三陸ホテル観洋)
  - 遠藤 和子さん (ホテルニューさか井)
  - 高橋 知子さん (篝火(かがりび)の湯緑水亭)
- 三陸新報社編集局次長 玉谷誠一

続く